



「公園条例の一部を改正する 条例について」などを可決



【写真左】としまみどりの防災公園イメージ
所在地：東池袋四丁目 42 番 令和2年9月全面開園予定

【写真右上】池本だんだん公園イメージ
所在地：池袋本町二丁目 37 番 開園式：令和2年3月14日(土)

【写真右下】雑司が谷公園イメージ
所在地：雑司が谷二丁目 12 番 1 号 開園式：令和2年3月28日(土)

令和元年第4回定例会は、11月19日から12月9日までの21日間にわたって開会されました。

今定例会では、各会派議員による一般質問が行われたほか、区長提出議案22件を可決、議員提出議案は1件を可決しました。

請願・陳情は、2件を採択、2件を不採択、新たに4件を閉会中の継続審査としました。

可決した意見書等 (要旨)

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

青色申告者を含む小規模事業者を取り巻く環境は、長期的な景気の低迷に続き、世界規模の経済状況の悪化により危機的かつ深刻な状況にあり、また、雇用不安の拡大、金融事情の悪化後継者不足など、様々な危機にさらされている。

このような社会経済環境の中で、小規模事業者は厳しい経営を強いられ、家族を含めてその生活基盤は圧迫され続けている現状にある。

また、小規模事業者のみならず多くの都民が、税や社会保障費などの負担の増加にあえいでいる実態にある。

このような中で、東京都においては軽減措置がとられ、多くの小規模事業者等がその適用を受けている。

この厳しい環境下において、都独自の施策として定着している軽減措置が廃止されることと

主な掲載内容

議案等の審議結果一覧	2面
区政のここが聞きたい ～一般質問(要旨)～	3～6面
常任委員会Q&A	7面
視察来訪した議会一覧	8面

予告

「第5回議会報告会」 を開催します!!

開催日時：5月16日(土)
午後2時から
場所：としま区民センター8階
多目的ホール
(東池袋1-20-10)

- ・新しくなった区民センターでの開催です
- ・事前の申し込みは不要です

問い合わせ先

区議会事務局 議事グループ
☎03(3981)1453

よって、豊島区議会は、東京都に対し、次の事項について強く要望する。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和2年度以後も継続すること。
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和2年度以後も継続すること。
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、令和2年度以後も継続すること。

(東京都知事あて)

○：可決に賛成 ×：可決に反対 退：退席

議案等の概要と審議結果

番号	件名	概要	自 民 党 豊 島 区 議 団 (9人)	公 明 党 (7人)	都 民 フ ァ ー ス ト の 会 ・ 民 主 党 (7人)	日 本 共 産 党 (4人)	立 憲 と し ま ま (3人)	無 所 属 の 会 (2人)	無 所 属 元 氣 の 会 (1人)	豊 島 ネ ッ ト (1人)	し き し ま 会 (1人)	あ た ら し い 豊 島 の 会 (1人)	結果
第72号議案	豊島区災害弔慰金の支給等に関する条例(一部改正)	災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、災害援護資金の貸付けについて所要の改正の外、規定の整備を図るとともに、附則において豊島区災害弔慰金等支給審査委員会委員の報酬を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第73号議案	豊島区マンション管理推進条例(一部改正)	東京におけるマンションの適正な管理の促進に関する条例の制定に伴い、マンションの管理状況について同条例の届出対象者を豊島区マンション管理推進条例の届出対象者から除く。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第74号議案	豊島区立公園条例(一部改正)	としまどりの防災公園及び池本だんだん公園を設置するとともに、雑司が谷公園の位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第75号議案	豊島区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例(一部改正)	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の正誤が官報に掲載されたことに伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第76号議案	豊島区立学校設置条例(一部改正)	池袋第一小学校の新校舎の建設による仮校舎への移転に伴い、同校の位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第77号議案	豊島区立子どもスキップ条例(一部改正)	子どもスキップ池袋第一の位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第78号議案	寺町沿道道路改良工事請負契約の一部の変更について	変更理由：設計変更により契約金額及び工期を改める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第79号議案	財産の無償貸付について	無償貸付財産：山梨県南都留郡山中湖村大字平野字不動坂 2505 番外の土地外1建物及び付属物等 無償貸付の目的：引き続き宿泊施設として運営することを条件に、旅館・ホテル等の経営ノウハウを持つ民間事業者に貸し付けることにより、宿泊施設機能の継続と効率的安定的な運営を図る。 無償貸付の相手方：株式会社フォレスト 無償貸付の期間：令和2年4月1日から令和5年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第80号議案	財産の無償貸付について	無償貸付財産：福島県耶麻郡猪苗代町字見祢山1番 127の土地外1建物及び付属物等 無償貸付の目的：引き続き宿泊施設として運営することを条件に、旅館・ホテル等の経営ノウハウを持つ民間事業者に貸し付けることにより、宿泊施設機能の継続と効率的安定的な運営を図る。 無償貸付の相手方：株式会社フォレスト 無償貸付の期間：令和2年4月1日から令和5年3月31日まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第81号議案	和解について	南長崎六丁目の区有地について、土地を占有している建物所有者と和解する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第82号議案	豊島区立心身障害者福祉ホームの指定管理者の指定について	福祉ホームさくらんぼの指定管理者に、社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会を指定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第83号議案	豊島区立自転車等駐車場の指定管理者の指定について	駒込駅北、巣鴨駅南、巣鴨駅北、巣鴨駅第三、巣鴨駅北口白山通り、西巣鴨駅自転車駐車場の指定管理者に、サイカパーキング株式会社を指定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第84号議案	豊島区立目白庭園の指定管理者の指定について	目白庭園の指定管理者に、かたばみ・鹿島建物共同事業体を指定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第85号議案	豊島区立体育施設の指定管理者の指定について	豊島体育館の指定管理者に共同事業体豊島区体育協会グループを、三芳グラウンドの指定管理者に共同事業体日本テニス事業協会共同企業体を、総合体育場、西巣鴨体育場及び荒川野球場の指定管理者に共同事業体ピーウォッシュ・豊島区体育協会・太平ビルサービスグループを指定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第86号議案	令和元年度豊島区一般会計補正予算(第5号)	補正予算額：5億9,783万6,000円 補正後の額：1,539億8,606万1,000円	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第87号議案	令和元年度豊島区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	補正予算額：2億4,070万3,000円 補正後の額：306億9,155万5,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第88号議案	豊島区教育委員会教育長の任命について	被選任者 金子 智雄氏	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第89号議案	職員の給与に関する条例(一部改正)	人事委員会の勧告等に基づき、勤勉手当の支給月数及び給料表の給料月額を改める。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	可決
第90号議案	幼稚園教育職員の給与に関する条例(一部改正)	人事委員会の勧告に基づき、勤勉手当の支給月数及び給料表の給料月額を改める。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
第91号議案	職員の退職手当に関する条例(一部改正)	特定期間に退職する者の退職手当の基本額に係る経過措置を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
第92号議案	豊島区印鑑条例(一部改正)	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、所要の改正を行うほか、規定の整備を図る。	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	可決
第93号議案	(仮称)マンガの聖地としまミュージアム新築工事請負契約の一部の変更について	変更理由：資材調達に時間を要することにより工期を改める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第14号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	1面をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

請願・陳情の審議結果

	自 民 党 豊 島 区 議 団	公 明 党	都 民 フ ァ ー ス ト の 会 ・ 民 主 党	日 本 共 産 党	立 憲 と し ま ま	無 所 属 の 会	無 所 属 元 氣 の 会	豊 島 ネ ッ ト	し き し ま 会	あ た ら し い 豊 島 の 会	結果
元請願第4号	片手しか使えない障害者にトイレに流せるティッシュペーパーの支給を求める請願	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
元請願第5号	羽田空港増便計画の新ルートについて「試行期間を設けること」を国土交通省に要請する請願	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択
元陳情第11号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
元陳情第12号	都心上空低空飛行ルート計画について学校・保育園・幼稚園等、施設関係者、保護者向けの説明会の実施を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続審査
元陳情第13号	ハンセン病家族訴訟及びハンセン病問題の全面解決を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
元陳情第14号	失語症者向け意思疎通支援者の派遣についての陳情	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
元陳情第15号	長崎・南長崎地域に銭湯の確保を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	継続審査
元陳情第16号	羽田空港の増便に伴う新飛行ルート計画の撤回を求め、豊島区議会から意見書提出を求める陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択

区政のここが聞きたい

第4回定例会一般質問(要旨) 11月26・27日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

かがやく時代を紡ぎ 切り拓く



自民党豊島区議員
松下創一郎

●区政と区財政のこれから
 問 30年度決算の投資の成果は、どんな指標で効果を測るのか。
 答 投資に対する政策効果を測定する指標の設定や分析方法は明確に確立されていない。研究はするも、特定エリア限定の分析手法確立に苦慮。今後も様々な指標に基づく検証を継続。

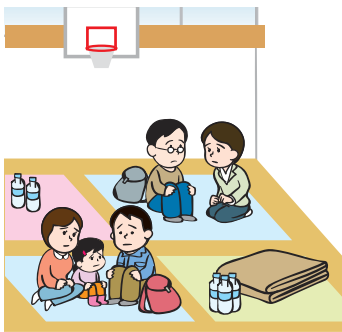
問 東アジア文化都市事業に対する投資は、事業の意義と今後引き継ぐ成果に係る所感は。
 答 現時点では、事業費総計5億円の範囲で執行できると想定。区民主体の大視察交流団が西安市、仁川広域市を訪問し、文化交流の意義を体験。文化・観光分野に及ぶ継続的な交流と発展につながる最大の成果。今後に引き継がれるレガシーとなった。

問 東京オリンピック以降の区の発展と将来像に係る展望は。
 答 本格的な国際文化都市へ発展。世界からヒト、モノ、カネ、情報を惹きつけ、一つ上のステージに立った自治体として区民のシビック・プライドに込める。

●都市整備政策について
 問 台風19号対策における問題点と今後の改善策の総括は。
 答 風水害対策は、12の地域本部に加え、としまセンタースクエアに医療職を配置し、13か所の救援センターを開設・運営。あらゆる場を活用し区と町会、消防団等との連携を強化、オールとしまでの災害対応を可能に。

問 区が現在想定している危機対応のケースは。
 答 主に首都直下地震、台風、

暴風雨、集中豪雨による河川氾濫等を想定。想定外を想定する対策の必要性は認識。他にテロ等に対する想定として、国民保護計画の中で計画を策定。



救援センターの開設

●子育て政策について
 問 離婚家庭別居親の養育費支払いを行政が強制する明石市の施策をどのように考えるか。
 答 個々の複雑な経緯や背景がある中、当事者間のプライバイシーに係る問題への行政の強制介入は慎重に判断すべきと考える。

問 養育費支払い停滞の原因の一つが面会交流の途絶。面会交流実施に関する調査は行われているか。養育費取決めに關する合意書等の勧奨は。
 答 調査は行っていない。専門相談員が相談に応じ、状況確認

●防災・減災対策について
 問 台風19号により、本区で初めて避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)が発令されたが、防災無線が聞き取りにく

助言。養育費取決めは口約束でなく書面に残す必要があり、合意書作成等の勧奨に努めている。

●スポーツについて
 問 民営のスポーツクラブチームでのパワハラ等が判明した場合の対応は。
 答 相談や情報提供を受けた場合は、速やかに団体に事実確認を要請し、関係部局・機関と連携しつつ問題の解決につなげる。

問 eスポーツをどう考えているか。また、区がeスポーツのメッカとなる考えはあるか。
 答 世界的にも盛り上がるeスポーツは新たな成長分野。係るメッカを目指すことは、マンガ・アニメのまちづくりとの相乗効果も。eスポーツを含む池袋アニメタウン戦略の検討を進める。

●学校教育について
 問 小中学校教職員で一カ月超の休職者、退職者の人数は。そのうち心因性の病気になる人数は。
 答 28年度から30年度の休職者は15名、8名、7名。そのうち心因性休職者は2名、6名、2名。退職者はいなかった。

問 教職員の人事における区の関与は。学校と区の関係性とそこで顕在化している問題は。
 答 区教委は都教委に講師配置申請をするが、人材がなかなか見つからないという問題がある。連携して学校を支援していく。

公明党
 辻 薫
 かった等の声が寄せられた。原因と今後の改善策は。
 答 無線が風雨により聞きづらかったため、フリーダイヤルで無線の放送内容を確認できるサ

ービスを早急に導入していく。
 問 西部区民事務所を救援センターとして開設するには、早急に体育館にトイレを設置すべき。
 答 設置を検討、対応していく。

問 避難対象地域を区内全域とした場合、全ての救援センターを開設し、町会に協力要請を。
 答 水害時等の避難者数は大震災時とは異なると考えており、13か所の開設を検討。災害弱者の避難者を想定し町会等のボランティアを募り、体制を整える。

問 7月実施の女性防災リーダー研修後の取組状況は。今年度2回目の研修には、救援センターとなる小中学校に通う子ども保護者に参加を呼びかけては。
 答 帰宅困難者対策訓練等の視察により、区の防災施策に理解を深めている。次回の講座時にご提案のとおり呼びかけていく。

●窓口サービスの向上について
 問 糸島市のように死亡届提出後に関係課で情報を共有し、その情報を一覧表にして、遺族も



女性の視点からの防災講座(7月実施)

迅速に手続きが行えるおくやみ案内の実施を提案する。
 答 糸島市の取組を参考に、窓口手続きの利便性向上に活かし、具体的な改善策を検討していく。

●日本一「高齢者にやさしいまち」へ
 問 町会・自治会、民生委員・児童委員をはじめとする地域の

皆様の活動を更に活性化させることが、これからの高齢社会において重要であると考えているが、地域活動を更に活性化させ

子どもスキップの学童クラブのみが利用する入退室管理システムの導入は、児童の安全と保護者の安心のために対象者の拡大を。
 答 まずは学童クラブ以外の必要度の高い低学年児童を対象に、前向きに検討している。

問 本区での児童への声かけ等の件数とそれうち連れ去られなくなった件数は。また、昨年5月に発生した新潟市の事件以降の通学路の安全点検結果は。
 答 声かけ等が24件、連れ去られそうになった事案が1件発生。防犯カメラを今後3年間で各校5台から10台へ増設する計画。

●国際アート・カルチャー都市の取り組みについて
 問 個性的で心豊かな都市生活空間を創造するため、誰でも弾ける駅ピアノの設置を提案する。実現に向け、準備していく。

都民ファーストの会 会長
 里中 郁男
 問 個性的で心豊かな都市生活空間を創造するため、誰でも弾ける駅ピアノの設置を提案する。実現に向け、準備していく。

豊島区に
 思いやりと感謝で築く

※eスポーツ…「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム、ビデオゲームなどを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

ていくことは重要な課題と認識している。若者等の新たな担い手を取り込めるよう、情報や交流機会、活動場所の提供等、できる限り支援をしていきたい。

問 高齢者が厄介な存在であるとの風潮が広がっているが、今ある地域や社会は高齢者といわれる先達によって成し遂げられ、その恩恵によって自分たちがある。厄介払いという発想を根絶し、感謝と敬意の念で世代を超えて、これからの社会をともに構築していくべきと考えるが。

答 「高齢者にやさしいまちづくり」に向けて、世代を超えた「オールとしま」によるまちづくりの必要性について、様々な形で機運醸成、意識啓発を図り、世代間の連携を高めていきたい。

問 先進的な介護予防の取組について、東京都健康長寿医療センターの助言を受け、連携して進めてきたと伺った。総合高齢社会対策としても、研究機関等と連携し、科学的に分析しながら効果的に施策展開していくことが求められると考えるが、これまでの介護予防の取組は。

答 介護予防リーダーの育成、としまる体操の開発、高田介護予防センターの開設等、東京都健康長寿医療センターとの緊密な連携のもと、様々な介護予防事業を行ってきた。また、効果が期待できる講座や測定を区民ひろば等へアウトリーチし、介

護予防活動を区全体へ拡大していく取組を行っている。

問 社会全体が高齢化する中で、障害をお持ちの方や、その両親も高齢化していく。本区は福祉ホームさくらんぼの設置等きめ細かな取組をしてきたが、今後の高齢社会に向けて、施設整備をはじめとする障害者の皆様に対する取組についての考えは。

答 施設整備だけでなく、関係機関やボランティア、地域の皆様との理解と支え合いに基づく社会福祉コミュニティの形成が不可欠と考える。



福祉ホームさくらんぼ

問 日本一の「高齢者にやさしいまち」を実現してほしいと考えるが、総合高齢社会対策プロジェクトにおける区長の想いは。

答 ピンチをチャンスに変えるべき時であり、地域に根差した文化やサーブコミュニティで培った「オールとしま」の力という強みを最大限に活かし、すべての皆様と一体となって取り組んで、日本一の「高齢者にやさしいまち」を実現していく。

大型開発ではなく区民を大切に 予算編成を



日本共産党
渡辺くみ子

問 予算編成にむけての区長の基本姿勢について

区民の暮らしや営業は、増

税や社会保障の負担増により、深刻さを増している。来年度予算編成では施設使用料、手数料

国民健康保険料、教育の私費負担等は引き上げないと約束せよ。

答 必要な範囲で応分の負担を求めている。約束はできない。

問 来年度予算に盛り込むべき課題について

答 生活保護世帯等への支援の拡充や貧困の打開への取組は政治の責務。区は生活保護基準額の引き下げにきつぱり反対せよ。

答 反対する考えはない。

問 区は、単身世帯の住宅扶助の一般基準額では最低居住水準25㎡の確保が困難なことを認識しているのか。特別基準が適用可能なことを周知せよ。

答 区内に入居可能な物件があるため、一般基準を限度額とせざるを得ない。特別基準については、該当者に周知する。

問 区民の実態に目を向け、一人暮らしで低所得の高齢者も利用できる介護者派遣の体制を早急に確立せよ。

答 介護保険サービスに該当しない自立した生活を送る高齢者は、介護者派遣の対象外。経費負担の面からも公平性の観点からも、独自制度は創設できない。

問 まちづくりについて

答 高田一丁目の広大な工場跡地について公園の建設等を強く

求めてきたにもかかわらず、企業によるマンション建設計画が発表された。区は情報収集や区民への還元を検討を行ったのか。

答 事前相談を受けるまで情報がなく検討できなかった。今後、地域貢献について、事業者の協力を最大限引き出していきたい。

問 この計画については、区は区民の居住環境整備に配慮するとともに神田川周辺の景観保持に積極的に取り組むべき。

答 景観条例に基づく事前協議を開始し、指導を行っている。

問 南池袋C地区再開発事業における新保健所建設計画の具体的内容と建設費を明らかにせよ。

答 今後内容を協議し算出する。

問 仮保健所の継続的な活用と合わせ、再開発事業計画は全面的に見直すべき。

答 見直す予定はない。



神田川

暮らしにおける、今と未来の安全、安心



立憲としま
さくま一生

問 脱プラへの第一歩と、それにまつわる環境教育について

答 プラスチック製品のリデュースは世界的な潮流。認識は。ごみの発生抑制、リデュースの重要性は強く認識している。

問 区の施設や公園におしゃれな給水所を設置し、マイボトル

キャンペーンを実施しては。

答 他の自治体の事例を研究し、今後の取組を検討していきたい。

問 ひとりひとり世界と切り離れた存在ではない。雨水枡に「この先、海です」というシールを貼るイベントとワークショップの環境教育をしては。

問 海洋プラスチック問題は、児童・生徒を対象とした環境教育プログラムで取り上げるべきテーマ。提案の実施を含め、効果的な内容を今後検討していく。

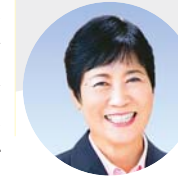


「この先、海です」シール

問 他の自治体にさきがけて脱プラスチックへの取組を始めた。区長の所見は。

答 イベント等での普及啓発を進めている。消費者、企業、団体などと連携し取り組んでいく。

子ども達が夢や希望も てる豊島区を目指して



無所属の会
わがい哲代

問 介護保険制度の再構築を求めて

答 経済的負担を理由にサービス受給を抑えざるを得ない方の実態調査が必要。現場視点の合理的見解を求める。

問 現在、要介護認定者調査を開始している。今回は、ケアマネジャー、在宅介護者等にも調査対象を拡げ実態把握に努める。

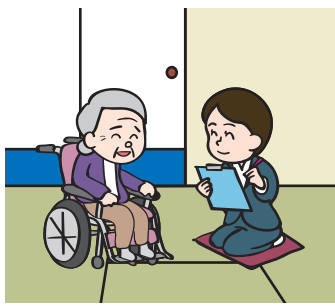
問 利用者の介護環境や生活の質の向上につながる一助として、補聴器の月額レンタルを選択的介護モデル事業としては。

答 提案は興味深い。医療機器である点から制約があり困難。

問 選択的介護モデル事業も期間は残り半分。効果検証方法は。

答 一つひとつの事例について丁寧に報告を受け、具体的な効果を検証していく。

問 中小介護事業者の事業協同化は、人材バンクの要素、研修の充実等、様々な展開が期待できる。この成立に本区の介護の現場が映し出されると考えるが、区の見解は。また、事業協同組合成立の可能性、都のバックア



在宅介護実態調査

ツブ、区の支援体制は。協同化により事業所単独ではできない取組が広がり、質の高い介護サービスの提供が期待

共働き家庭にもやさしく子育てしやすい豊島区へ。学校の長期休暇中、学童保育の希望者全員に弁当の提供を！



無所属元気の会
小林 弘明

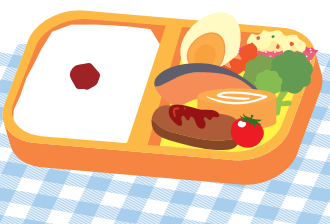
「共働き・子育てしやすい街」を実現できる、具体的な施策・事業方針について

共働き・子育てしやすい街のうち、子育てについての取組と比べると、共働きしやすい取組はわかりにくい。共働きしやすさを区民が実感できるように施策が必要。今後の方針は。

子育て施策を推進し、区の利便性や施策の先進性を積極的に情報発信する。

学童保育での仕出し弁当利用可能状況、保護者負担について

ICTや公民連携を活用した運用で負担感が減るのでは。



弁当作り

住み続けたい、住み続けられるまちづくり



豊島ネット
塚田ひかり

大型マンション開発により、区民が急増した地域における、行政サービス、インフラへの対応について

大型マンション開発による区民の急増に備え、所管を越えた横断的な情報共有が必要では。

共同住宅の大量供給が予定される計画は関係部局に情報提供し、必要な対策を講じている。

豊島区景観計画とまちづくり



豊島区景観計画

できる。組合の設立は今年度中を目指している。都の補助が4分の3あり、区としても、多様なセミナーを行い支援していく。

本区の景観形成特別地区にある。開発許可制度のように一定の拘束力はないが、本区の権限を最大限に活用し、歴史ある景観の趣を次世代に引き継ぎよう、開発事業者と協議を重ねていく。

豊島区の業者訪問被害に ついて



しきしま会
くつざわ亮治

営利業者の夜間訪問被害における区内の年間苦情・相談件数について

街頭などで、NHK集金人が夜中に訪問してきて非常に迷惑、怖いという相談が数多くあり、引き続き、「想定外の夜間営業訪問を禁止する条例」の成立を求めていきたいと考える。

区に寄せられた夜間営業訪問による年間の相談・苦情件数と、NHKによる被害の相談・苦情件数は。

平成30年度の1年間で、豊島区消費生活センターに寄せられた相談件数は2千198件。このうち、訪問販売に係る相談や苦情

情は157件。また、夜間営業訪問への相談や苦情は1件。NHKに関する相談や苦情は21件。この中には、集金人訪問に関わる相談や苦情のみでなく、受信料や放送内容への質問なども含まれた件数となっている。



相談・苦情の受付

人にやさしい豊島を目指して！



あたらしい豊島の会
入江あゆみ

保育士の待遇改善による保育の質の確保について

他の自治体と比べ、保育の質、保育士の労働環境において遅れをとっているのでは。保育士の給与と労働環境について、実態の把握とともに目に余る場合には指導を行うべきでは。

支給水準の低い事業者には処遇の改善に向け強く要請する。借り上げ社宅制度について、

補助の上限の家賃を超えた場合、上限の範囲内での使用の可否は。また、区独自の上乗せした家賃補助をすべきでは。

補助の額を超えた場合は自己負担で借りられる。ただちに区独自の補助を行う予定はないが、実態に即した補助に努める。

巡回指導員を増員し、最低1年に1回の調査が必要では。現在の体制でも、各施設を

最低年に1回訪問している。引きこもり支援について

区内の引きこもりの実態調査について、進捗状況や課題は。

調査方法の検討を進める。

特別支援教育について

学習障害を持つ人にとって、ICT機器は日常生活を送るために必要。児童のICT機器持ち込みについて、各学校の教員、生徒への理解促進が必要では。

ICT機器の活用を踏まえ



ICT機器の活用

笑顔あふれる街、豊島を創る



自民党豊島区議団
石橋 正史

豊島区の教育について

特別支援学級に通う児童・生徒及び外国籍の児童・生徒や外国籍の保護者に対する対策が重要になっていくと考えるが、現状の対策と今後の見通しは。

特別支援学級の児童・生徒への対応は日本語学級を設け、特別支援教育の「見える化」を図る。外国籍の児童・生徒への対応は日本語学級を設置している小学校、教育センターの日本語教室等で個別の指導を実施。今後、教育委員会と区内7大学等と連携し、指導を充実。外国籍の保護者への対応は通訳を派遣し進路面談等に活用

笑顔あふれる街、豊島を創る

豊島区の介護施設について

今後、介護人材の確保は厳しい状況が続く、様々な問題が見えてくる。区内の介護施設の人材確保はできているのか、充足率の指標はあるのか。

稼働に支障がない人員の確保はできていると考える。充足率については、設定に向けた調査・研究に取り組んでいく。



日本語教室の様子 (教育センター)

介護人材に対する更なる処遇改善、中高年・外国人の活用促進、介護ロボットの活用などの対策に対する見解は。

高い関心を持って研究する

分野だと認識している。

●**巣鴨の街づくりについて**

旧朝日中学校跡地の整備について、基本的な考え方は、

特別養護老人ホームの整備、災害時の一時避難場所などとしてのオープンスペースの確保、区民ひろば朝日の拡充、その他文化機能の整備を検討。

特養待機者の実態などを踏まえた特別養護老人ホームの規模に関する検討状況は。

区民の声を区政に 魅力あるまちづくり

●**災害対策について**

谷端川流域の大雨の際の洪水ハザードマップを見直しは、

最新データを反映させ、改訂作業を行っている。12月上旬には完成し、広く周知していく。

暗渠のため、見て水量が分からない谷端川への水位観測システムの設置についての考えは、

雨水を貯留する幹線が構築され浸水被害も大幅に減っているため、優先順位は低いが、谷端川については注視していく。

池袋駅西口地区の救援センターについて、地域から、数が少ないなど不安の声がある。再整備についての考えは、

区民の不安の軽減、避難者への医療体制確保のため、西池袋中学校をはじめ13か所を開校する。

池袋西口のまちづくりについて

池袋の個性を捉え、更に発展させていく今後のまちづくりの方向性についての見解は、

国際アート・カルチャー都市の将来をけん引する多様な都

今後の要介護者人口の推計等精査し、適正規模を検討。

地域包括ケアシステムの構築に資するような施設整備なども検討が必要だと考えるが、

国や都の制度の活用を図りつつ、他の場所にて整備を推進、

余剰スペースが出た場合、介護予防や自立支援に資する施設とすることについての考えは、

地域の活性化等に向けた文化機能の整備の方を検討。



都民ファーストの会 議員 中澤まゆき

市機能を誘導し、グローバルリングや東京芸術劇場と調和したまちづくりを進めていく。

再開発で実現する西口駅前の広場等の空間配置における区

の基本的な考え方は、

地上に人を誘導し、回遊を広げることが更なる発展につながる。駅前だけでなく西口地区

全体に賑わいが広がる駅前空間創出を目指す事業を進める。

キッチンカーを配置し、気軽にカフェタイムができる等の西池袋公園再生の早急な対応が望まれるが、

立教通りに近接した重要な位置にある西池袋公園を、西口

全体のまちづくりの中に位置づけ、周辺の方々と協議し、キッチンカーの利用なども検討する。

子ども環境づくりについて

台風19号の大雨で利用が不可能となった荒川野球場の使用再開時期は、

遅くとも新年度からの利用再開を目指し復旧作業を進める。利用者の皆様への影響が最小限

となるよう、復旧を急いでいく。

子ども達が高品質な芸術作品に触れることを継続させていくことは重要だが、区の考えは、

今後も、ジャンルに捕らわれず、次世代の子どもたちが質の高い芸術作品に触れられる機会を提供できるように検討する。

池袋西口公園について

インフォメーション・カフェの機能と観光協会等との連携については、

多言語対応の「観光案内所」として、7か国語に対応する。タッチパネルによる観光情報の提供など有益な情報を提供する。観光協会等との連携は、協会に登録している外国語ボランティアガイドを土日に派遣していただき、外国人観光客への観光案内

子どもから高齢者まで一人ひとりに寄り添う区政に転換を

●**子育て支援について**

子どもの貧困が深刻化している。子どもの最善の利益を基本とする「豊島区子どもの権利条例」の観点から、子どもの貧困をどうとらえているのか。

子どもが生まれながらに持つ権利を脅かすものと認識。

今後、貧困対策をより具体的に進めるため、条例をどのように活かしていくのか。

貧困対策は子どもの権利保障の根幹。学習の支援、経済的支援、子育て家庭への支援等、

重層的に実施、推進していく。

義務教育は無償が原則。給食費について、世田谷区では19

年10月から全額補助の対象が拡大された。本区も就学援助の認

内のサポートを実施する。



インフォメーション・カフェ

●**区内の移動環境の整備について**

イケバスの西口方面の路線の延伸についての考えは、

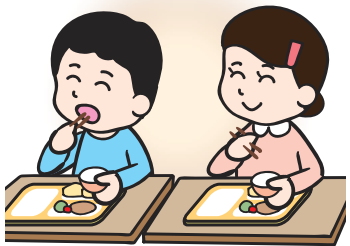
池袋駅西口に立地する集客施設の回遊性や区庁舎へのアクセスを向上させ、西口から乗車する方の利便性の向上を図るルート



日本共産党 清水みちこ

定基準の引き上げをすべき。

23区でも標準的な認定基準を引き上げは考えていない。



給食

修学旅行費は18年度平均で6.8万円と高額な上、全額保護者

負担。負担軽減のための補助の必要性は感じていないのか。

経済的に困難な家庭には就学援助制度で援助している。

(再質問) 同じ学校行事の移動教室、林間学校では交通費は全額、宿泊費は半額補助している。保護者の負担軽減をせよ。

私費負担については必要な範囲で家計負担を求めている。

義務教育を終えた高校生以降は公的支援が少なくなる。子どもの医療費を18歳まで無償化すべき。

現時点で18歳まで引き上げる考えはない。

住宅施策について

区民が求めているのは低廉な家賃の良質な公営住宅。区長はその必要性に対して、どのよ

2020年も、輝ける豊島区となるために。



無所属の会 ふるぼう知生

●**東アジア文化都市事業の総括と今後について**

総事業費と区の一般財源からの支出額については、

一般財源の支出については、基金積立額である3億円に収まり、事業費総計でも、5億円の範囲内で執行できる予定。

事業に携わった職員の労働環境について働き方改革との矛盾は生じなかったか。

長時間の時間外勤務が発生し、負担をかけた。人事部門と緊密に連携し、ケアを行った。

事業の継続・発展や総括のためのアンケート調査の実施及び総括を行う時期と方法は、

本年2月、豊島区民と池袋から35キロ圏内の一都三県居住者を対象にインターネットアンケートを実施。閉会后、同様の調査を実施し、効果等の分析を行う。来場者アンケートと合わ

せて事業報告書に取りまとめた上で、年度内に報告する。

来年度以降実施されるレガシー事業の区の考えと方向性は、

開催の翌年以降、文化庁から交流事業の委託経費が交付されるため、レガシーとして継続できるスキームを検討していく。

●**豊島区をアピールする広報**

2020年の広報戦略は、ソフト・ハードの両面から「国際アート・カルチャー都市としま」を国内外に発信する。



国際アート・カルチャー都市としま ロゴマーク

常任委員会

Q&A

総務委員会

開会日 11月28日(木)・29日(金)
 案件 議案8件・報告2件等

●豊島区災害弔慰金の支給等に関する条例(一部改正)

災害援護資金の貸付利率が保証人なしで3%から1%となるが、23区の状態は。

● 本区を含め20区で改正している。13区が1%としている。

● 新設する支給審査会は何人ぐらいを考えているのか。

● 弁護士2名、医師2名、区職員、ソーシャルワーカー等7名ほどを想定し、検討している。

●寺町沿道道路改良工事請負契約(一部変更)

● この地域は一方通行が多く通行が難しい。交通誘導員の数が増えているが。

● 所轄警察とも協議を行い、迂回路誘導を適切に行うため、誘導員を増員している。

●令和元年度豊島区一般会計補正予算(第5号)

● 財政調整基金の今後の見込についてどう考えているか。

● 方針としては標準財政規模の2割程度、具体的には、140億150億円を見込んでいます。状況によっては、起債を抑えるためにそれを下回ることも考えられる。

● 旧第十中学校跡地活用等事業の公民連携の整備手法で、設計施工、管理運営に加え資金調達を一括発注するとした理由は。

● 資金調達が入った場合は、資金調達を担う企業が中心とな

って、運営に当たるといふメリットを考え、この手法を選んだ。(仮称)マンガの聖地としまミュージアム新築工事請負契約(一部変更)

● 色合い検討会が示した瓦を実現するための工期延長とのことだが、検討会のメンバーは。

● トキワ荘にお住まいであった先生方、当時を御存知の地域の方に参加していただいた。

● もっと早く瓦の問題に気が付かなかったのか。

● 施工段階の6、7月に材料を決めていく中で分かった。

● 当初予定したのから、変更による工期延伸ということか。

● 検討会で示された瓦を製造できるところが少なく、設計変更前の仕様に合わせていなかったため、現在設計変更後の仕様に合わせて大臣認定を申請している。

● 工期の延伸について、寄附者等への説明は。

● 今後、寄附者・地域に説明していきたいと考えている。

区民厚生委員会

開会日 11月29日(金)・12月3日(火)
 案件 議案3件・請願1件・陳情3件・報告6件等

●豊島区印鑑条例(一部改正)

● 成年被後見人も印鑑登録ができるようになるというところは、例えば不動産の取引等重要な取引であっても、自らの意思をある程度尊重してできる範囲を広めることとなる。しっかり本人の権利擁護を考えて、窓口だけではなく、成年後見制度全体に

ついて考えていかなければならないが、その体制はどうなっているか。

● しっかりと体制をつくり、また、機会をとらえて区民への周知を行っていく。職員が制度を正しく理解し運用していくことが大変重要であるため、区民部と保健福祉部とが連携を取り、理解を深めて取り組む。

●豊島区立心身障害者福祉ホームの指定管理者の指定について

● 心身障害者福祉ホームは、27年前は、自活や自立の訓練をして将来地域のなかで暮らすという大きな目標があったと思うが、現在の利用者の話を聞くと、実態は少しずつ乖離しているのではないか。

● 当初は、どちらかという程度の方が親元から離れて自活できるようにすることを目的としていたが、27年経過するなかで、より中度から重度の方が、自分の生活を整えてグループホーム等に行くための準備をするという形態に変わってきている。

●失語症者向け意思疎通支援者の派遣についての陳情

● 区が派遣事業として行うこととなった場合は、ボランティアではなく専門家として報酬が支払われる形態になるのか。

● 基本的には対価を支払うことになると考えられる。先行区の事例、手話通訳者派遣事業をもとにして、試算することになると思われる。

●固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情

● この陳情はほぼ毎年提出されるが、議会としても都てに意見書を提出していると思うが、毎年提出していることについて都

の状況はいかがか。

● 地方税法の規定を都条例で軽減措置するもの。条例は1年限りであり、都議会第1回定例会で、毎年検討を行っている。

都市整備委員会

開会日 12月2日(月)・4日(水)
 案件 議案4件・請願1件・陳情2件・報告6件等

●豊島区マンション管理推進条例(一部改正)

● 区条例が施行されてからも管理状況の届け出をしていないマンション管理組合がある。どのように届け出を促進していくのか。

● セミナーの開催案内等において粘り強く周知してきた。都条例の施行に合わせて、文書による個別の督促など、一歩踏み込んだ対応が必要と考えている。

● 管理組合が適正な管理ができるよう、マンション管理士の活用を促している。

● 専門家派遣制度を活用することで、支援をしている。

● 管理状況の届け出について、提出後に変更が生じた事項については、届け出ない場合もあるのでは。

● これまでは届け出をまず出してもらうことを主眼に置いてやってきた。今後、都制度の開始に合わせて、更新の規定についても周知を図っていく。

● 届け出項目の「町会への加入」について、「なし」で提出があった場合、区が加入を促すことはあるのか。

● 町会への加入を強制するものではなく、協議することを義務づけたもの。地元から要望があれば地域とマンションをつな

ぐ役割もしている。

●豊島区立公園条例(一部改正)

● としまどりの防災公園に災害時避難された方は、公園内にテントを張ることや管理棟を活用することはできるのか。

● 防災公園の役割は一時待機場所となる。救援センターは目の前の朋有小学校となるため、ある程度落ち着いたら、救援センターに誘導することになる。

● 南池袋公園の芝生は、区民から人気があるが、防災公園、池本だんだん公園、雑司が谷公園の3つの公園はどうなるのか。

● 南池袋公園のように、冬芝と夏芝を切り替えず、冬は黄色く枯れるような芝生でクローバーなども生える管理になる予定。

● 防災公園は面積が広く、多くの人で賑わうことが予想されるが、ごみ捨て場などの設置は検討しているのか。

● 2か所程度ごみ箱を設置する予定。

子ども文教委員会

開会日 12月2日(月)
 案件 議案6件・陳情1件・報告4件等

●豊島区立学校設置条例(一部改正)

● 旧文成小学校の改修状況と進捗状況は。

● 校舎内の改修については、概ね終わっており、現在、校庭の舗装を実施している最中である。

● 旧文成小学校の傷み具合は、平成28年度まで池袋本町小学校の仮校舎として使用した後、これまで使用していなかったため、多少の傷みや汚れはあった。工事終了後、修繕や全体的な清

掃を実施し、児童を迎える準備を進めていく。

● 通学路において、北池袋駅の北側に踏切があるが、見守り体制は。

● 東武東上線と埼京線が通っており、なかなか開かない踏切である。登校時・下校時・スキップの時間帯に、重点的に学童安全通学指導員を配置する予定である。

● 現在、改修が必要な学校はいくつあるか。

● 池袋第一小学校は10番目の改築校で、残り20校ある。次は千川中学校改築の予定がある。

● 財産の無償貸付について

● 山中湖の秀山荘は27年、四季の里は25年経過し、大規模修繕等が必要な状況の中、今回、3年間貸付期間の延長ということであるが、今後も運営を維持することは可能か。

● 公共施設総合管理計画において、平成28年度から平成37年度の10年間で廃止を踏まえた検討が必要とされ、今後の方向性を検討している。

● 23区の中で、区外保養施設を保有している区は10区で、19施設ある。

●豊島区立体育施設の指定管理者の指定について

● 今回、総合体育場等は、3団体がグループを構成し指定管理者となっているが、それぞれの役割は。

● 施設の運営や様々なスポーツプログラムの開催等はピーウオッシュ、区とのイベントや体育協会内の団体間の調整等は豊島区体育協会、施設のメンテナンス等は太平ビルサービスがそれぞれ担う。

2019年中に本区に視察来訪した議会一覧

本区の先進的な施策、事業について、調査研究のため延べ43議会が視察に訪れました。視察状況は、下表のとおりです。

視察日	議会名	視察項目
1月16日(水)	大東市議会	南池袋公園について(公園緑地課)
1月17日(木)	豊川市議会	「庁舎建設」について(庁舎運営課)
1月25日(金)	大分市議会	選択的介護モデル事業について(介護保険特命担当課長)
1月29日(火)	板橋区議会	・豊島区役所本庁舎のIT推進の状況について ・豊島区役所本庁舎の無線LAN化について(情報管理課)
1月31日(木)	草津市議会	ワークスタイル変革について(行政経営課、情報管理課、人事課)
2月5日(火)	伊勢市議会	ICTを活用した働き方改革について(情報管理課)
5月30日(木)	文京区議会	東池袋フレイル対策センターについて(高齢者福祉課)
6月7日(金)	世田谷区議会	東池袋フレイル対策センターについて(高齢者福祉課)
6月13日(木)	愛知県議会	選択的介護モデル事業の概要について(介護保険課)
7月22日(月)	水戸市議会	・LGBTに関する取組について(男女平等推進センター) ・子ども家庭支援センターについて(子育て支援課)
7月23日(火)	瀬戸市議会	公文書管理条例について(総務課)
7月24日(水)	明石市議会	小規模公園活用プロジェクトについて(公園緑地課)
7月24日(水)	岡山市議会	新庁舎整備について(財産運用課)
7月25日(木)	北九州市議会	・豊島区役所新庁舎(財産運用課) ・2019東アジア文化都市の取組(東アジア文化都市推進担当課長)
7月26日(金)	和光市議会	豊島区における高齢者のフレイル対策について(高齢者福祉課)
7月29日(月)	沼津市議会	ワークスタイル変革について(情報管理課、総務課)
7月29日(月)	福岡市議会	フレイル対策(高齢者福祉課)
7月30日(火)	品川区議会	庁舎建替えおよび総合窓口について(財産運用課、総合窓口課)
7月31日(水)	福山市議会	南池袋公園の整備について(公園緑地課)
8月2日(金)	渋谷区議会	・豊島区のフレイル対策事業及び認知症対策事業について ・地域のフレイル予防の拠点となるセンターの取組について(高齢者福祉課)
8月5日(月)	京都市会	セーフティネット住宅への補助制度の取組について(住宅課)
8月6日(火)	豊田市議会	フレイル対策センターについて(高齢者福祉課)

視察日	議会名	視察項目
8月8日(木)	今治市議会	放課後事業について(放課後対策課)
8月9日(金)	名古屋市会	おとな食堂について(高齢者福祉課)
8月13日(火)	西宮市議会	・フレイル対策センター(高齢者福祉課) ・働き方改革(情報管理課、人事課)
8月15日(木)	世田谷区議会	議会棟の運用状況について(議会総務課)
8月20日(火)	小平市議会	被災者生活再建支援訓練について(防災危機管理課、区民活動推進課)
8月20日(火)	江東区議会 目黒区議会 東京都議会	・行政経営白書の概要 ・指定管理者導入15年の成果と課題 ・行政評価導入15年の成果と課題 ・行政経営の先進事例(区民センターのリニューアル)(行政経営課、生活産業課)
8月22日(木)	姫路市議会	高齢者安全運転支援装置設置促進事業について(土木管理課)
8月27日(火)	名古屋市会	公共施設マネジメントについて(財政局関係)(財産運用課)
8月28日(水)	宇治市議会	としまビジネスサポーターについて(生活産業課)
9月3日(火)	福岡市議会	車の急発進防止装置の購入助成(土木管理課)
9月3日(火)	京都市会	・パートナーシップ制度について(男女平等推進センター) ・女性の視点での防災の取組について(防災危機管理課)
9月4日(水)	名古屋市会	パートナーシップ制度を踏まえた区営住宅の運営について(住宅課)
9月4日(水)	荒川区議会	東池袋フレイル対策センターについて(高齢者福祉課)
9月4日(水)	板橋区議会	南池袋公園再整備事業について(公園緑地課)
9月5日(木)	大阪市会	LGBTに対する差別禁止を盛り込んだ「男女共同参画推進条例」について(男女平等推進センター)
11月14日(木)	北九州市議会	東アジア文化都市の取組について(東アジア文化都市推進担当課長)
11月14日(木)	たつの市議会	議会改革の取組について(議会総務課)
11月20日(水)	千代田区議会	子どもの権利委員会について(子ども若者課)
12月18日(水)	広島市議会	庁舎跡地の活用について 新公会堂「Hareza 池袋」(Hareza 池袋総合技術担当課長)

主な視察項目	件数	内容
	9件	フレイル対策関係
	5件	区役所庁舎関係
	4件	公園関係
	4件	働き方改革関係

会視察報告
防災・震災対策調査特別委員会
 本委員会は、令和元年11月7日～8日に広島県呉市及び岡山県倉敷市を視察しました。平成30年の西日本豪雨災害に見舞われた両市を訪問し、大雨特別警報等の警報、避難指示発令のタイミング、避難所運営や被災者の健康対策に関する教訓などについて説明を受け、特に被害の大きかった呉市天応地区



宮城県議会庁舎にて

視察の詳細は、ホームページの視察報告書をご覧ください。
 QRコード

公共施設・公共用地有効活用対策調査特別委員会視察報告
 本委員会は、令和元年11月5日～6日に福島県浜川町児童相談所及び宮城県の子供相談センターに関する事業等について視察しました。平成28年5月の児童福祉法改正を踏まえ、本区でも令和4年度中に開設予定である児童相談所及び一時保護所について説明を受けました。
 浜川町児童相談所では、実際に子どもたちが生活する一時保護所の見学を行いました。

- 広報編集委員会委員**
 ◎委員長 ◎委員長代理
 ○藤澤 愛子 (自民党豊島区議員)
 ○ふま ミチ (公明党)
 河原 弘明 (都民ファーストの会 民主)
 清水みちこ (日本共産党)
 川瀬さなえ (立憲としま)
 ふるぼう知生 (無所属の会)

- 議会日程(予定)**
 令和2年第1回定例会
 2月5日 告示
 2月6日 請願・陳情締切※
 2月12日 本会議(初日)
 2月18日 本会議(一般質問)
 2月19日 本会議(一般質問)
 2月21日 総務委員会
 2月25日 区民厚生委員会
 2月25日 都市整備委員会
 3月2日～17日 子ども文教委員会
 3月24日 予算特別委員会
 3月24日 本会議(最終日)
 ※点字による場合は、別途、区議会事務局にご相談ください。



呉市庁舎にて

及び倉敷市真備地区の現地視察を行いました。
 視察の詳細は、ホームページの視察報告書をご覧ください。
 QRコード